

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スポーツとまなびのひろば静岡校		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日子供が来るのを楽しみにしていて、スポーツ、集団活動を通じて社会性、コミュニケーション能力を高めながら、充分に体を動かして療育に取り組んでいる。	子どもたちがまた行きたい、楽しかった親御さんに自主的に言ってもらえる活動を提供している。	ただ楽しいというのではなく、独自の療育プログラムに沿った、子どもの成長につながる活動を楽しく取り組んでいきたい。
2	グループ内の事業所同士との連携が取れ(毎週zoomミーティングを開催)、療育内容を共有いあうことで工夫や改善をしていき、より質の高い療育が提供できている。	zoomミーティングによって集まりやすい環境と、その中で療育についての情報共有ができる、質問できる環境があること	スタッフのモチベーションを上げるよう、より具体的にこどもの成長を可視化していく「工夫をしていく隊。
3	アセスメント、モニタリング、支援者会議、支援計画書作成、共有の流れを確実にしていく	子どもの支援に必要な要素をすべての職員で分担し、話し合っ て支援方針を決める	一つ一つを丁寧に実施し、よりよい療育を提供できるよう日々スタッフ同士で話し合う職場環境を整備していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、父母会や保護者会など保護者同士が関わる機会がない事	夏祭り、秋祭りなどのイベントとを交流の機会として認しくしてもらい活用できればと考えている	SNSを活用し、保護者からの意見を取り入れていきたいと考えている
2	情報発信と周知がまだまだ進んでいないこと	緊急時対応などで変更が乗じたいの周知方法がまだまだ改善の	安全計画や緊急時の対応について保護者様に周知できるシステムを明確化していく
3	ペアレントプログラム研修や子育て支援等、親御さん向けの勉強会を開催できていない。	面談時以外でお子様の様子をお伝えする機会、例えばさらにSNSを活用するなど、改善していかなければと考えている	子育て勉強会、交流会等、企画してそのような場を提供したいと考えている。